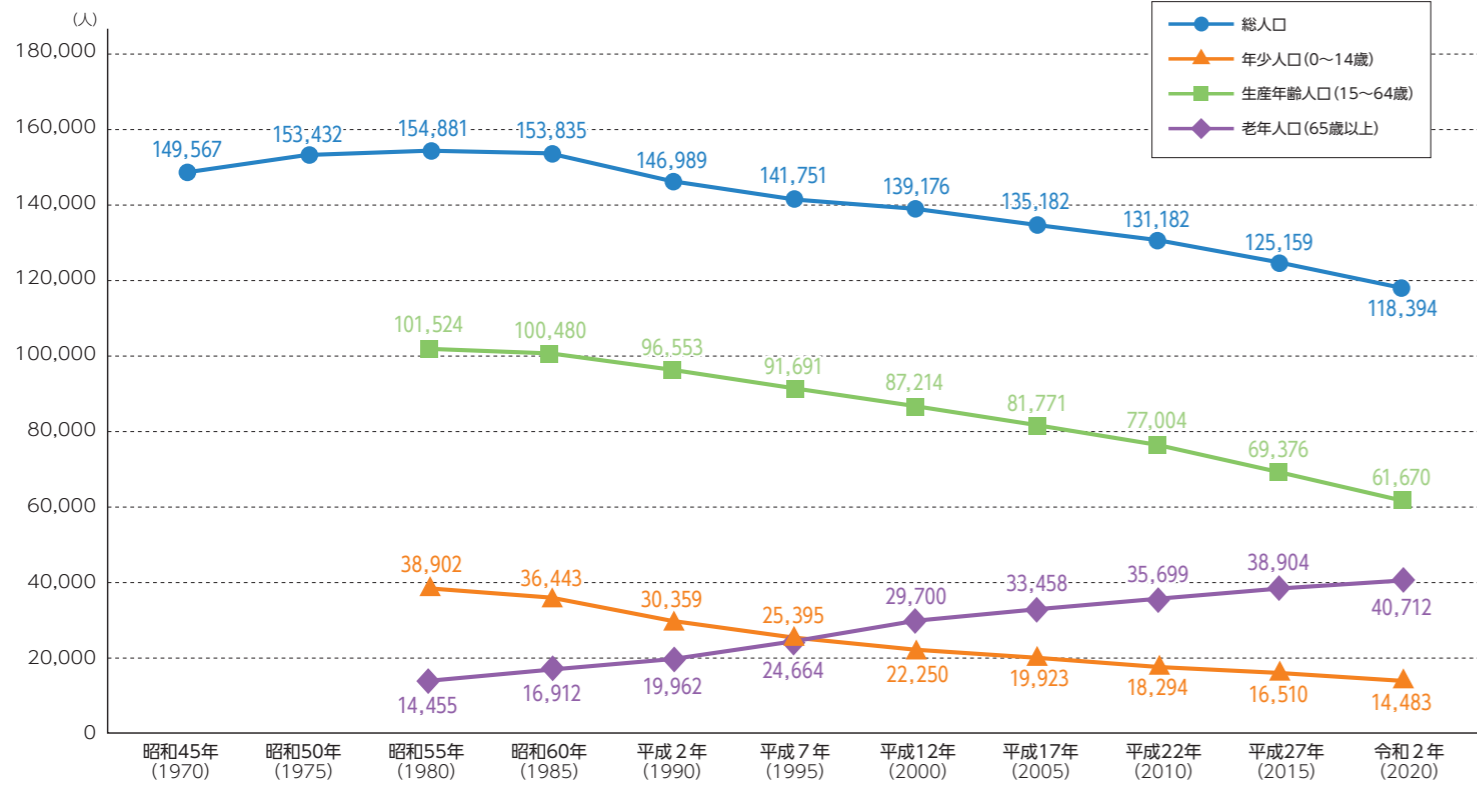


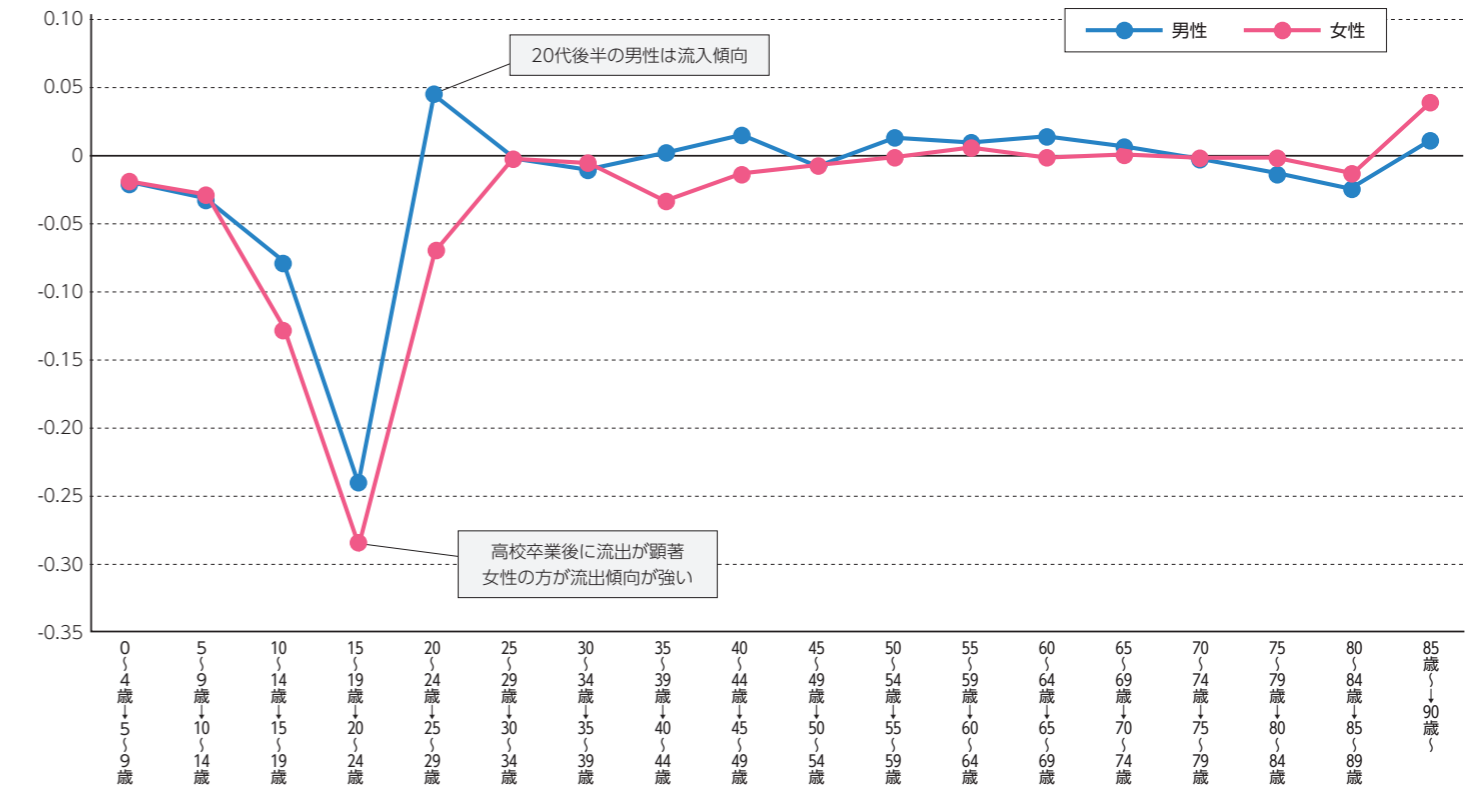
総人口及び年齢3区分別人口の推移

国勢調査による本市の人口は、昭和55(1980)年以降減少を続け、令和2(2020)年には118,394人にまで減少。生産年齢人口・年少人口の減少に伴い、総人口においても減少傾向である。



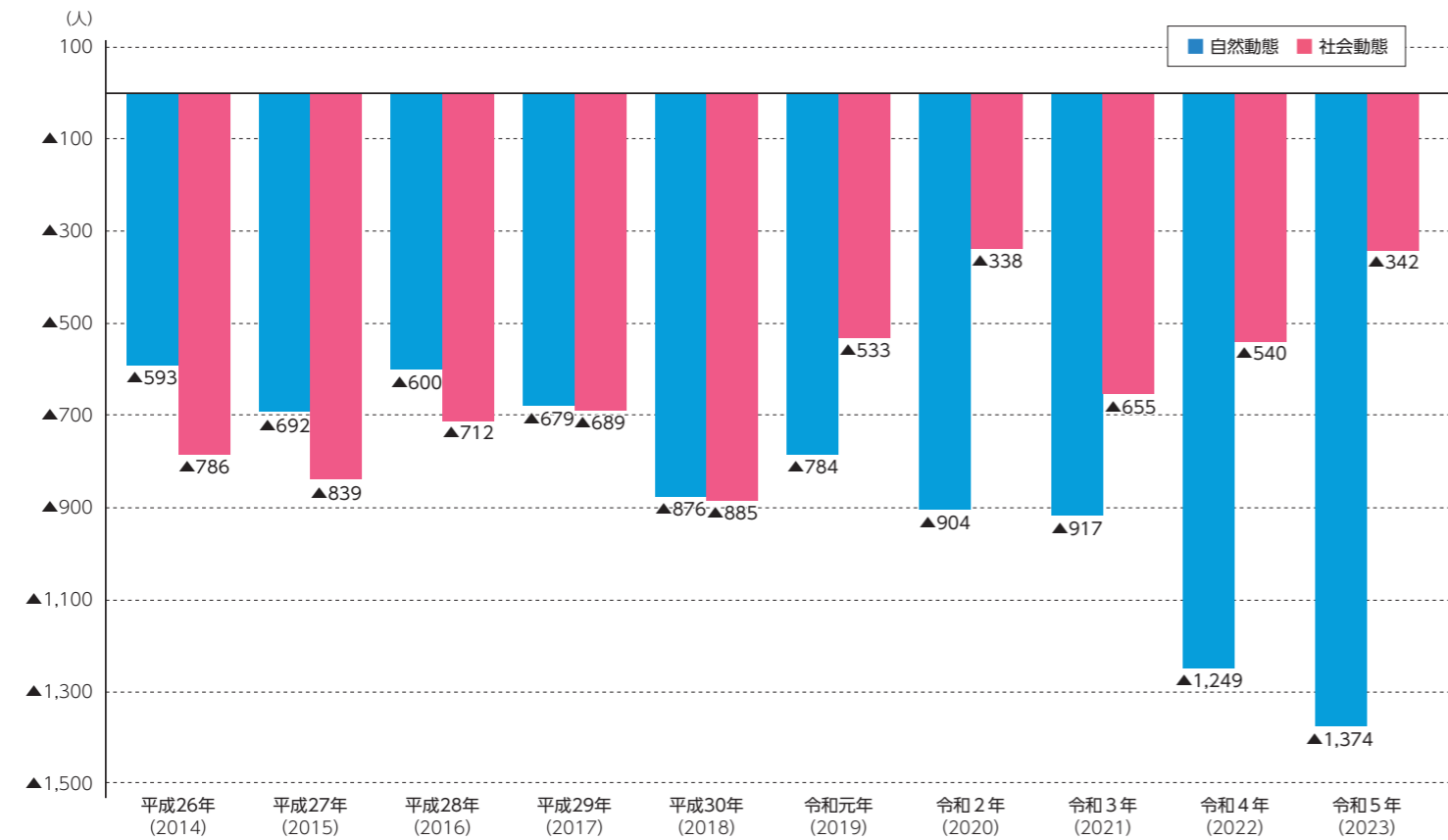
男女、年齢5歳階級別純移動率(2015年-2020年)

本市では転入が転出を上回る社会減の状態が続いており、男女ともに高校卒業後の流出が顕著で、特に女性の流出傾向が強い。



人口減少の背景(自然動態・社会動態の推移)

平成29(2017)年までは転出が転入を上回る社会減による減少数が自然減を上回っていたが、平成30(2018)年以降は死亡が出生を上回る自然減による減少数が社会減を大きく上回っている。



人口の将来展望

本市の人口の将来展望は、いずれのシナリオにおいても2030~2035年に人口10万人を割り込む見込み。

